

第3回 東北大学産婦人科腹腔鏡下手術トレーニングセミナー



東北大学病院婦人科 助手 渡邊 善

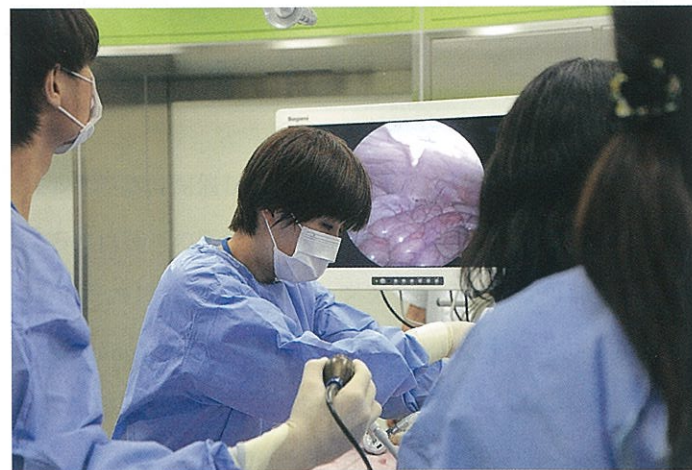
昨年より始まった「東北大学産婦人科腹腔鏡下手術トレーニングセミナー」ですが、平成27年2月21日に「第3回」が東北大学病院先端医療技術トレーニングセンターにて開催されました。今回も良陵協議会と動物実験施設

にご協力頂き、日本産科婦人科内視鏡学会の認定セミナーとして行われました。

本セミナーでは、受講生に8時30分に集合して、まず動物実験に関する倫理と福祉の講義を受けてもらいます。その後、すぐに Dry Lab と Wet Lab で腹腔鏡下手術のトレーニングに移ります。講義で動物実験の意義を理解することでトレーニングへの意欲を高め、休憩もそこそこに朝から夕方までみっちり行うので、終了時には受講生も講師、スタッフもへとへとになりますが、大変充実した、効率のよいトレーニングを積むことができます。

実際のセミナーは、受講生個々のレベルに合わせたトレーニング内容を設定し、経験の浅い受講生には基本的手技としてポート挿入から縫合、そしてパワーデバイスの使用法などを中心に体験してもらい、そして基礎のしっかりしている受講生には、骨盤リンパ節郭清にチャレンジしてもらいました。さらにトラブルシューティングとして、実際の手術でも起こりうる臓器損傷や出血などの対応を学びました。「第3回」セミナーに参加した受講生はとても積極的で、真剣にトレーニングに取り組んでいました。セミナー前後に受講生に書いてもらったアンケートからは、トレーニング内容に対する満足度が高く、ニーズを十分に満たしていたものと思われま

す。技術革新とともに適応が拡大し続けている腹腔鏡下手術、特に現在の産婦人科では当然のように求められる技術です。しかし、教育およびトレーニング環境としてはまだまだ追いついていない状況でもあり、トレーニング環境の整備が望まれています。当教室では、このようなセミナーを開催することで、腹腔鏡のスキルアップを望むすべての産婦人科医、そして産婦人科を



目指す研修医に、より実践的で効率的なトレーニングをする場を積極的に提供するとともに、そのニーズに合わせたトレーニング環境の改良、進化させていきたいと考えております。今後も年2回から4回の開催を企画していく予定です。

最後に多くのサポートを頂いた良陵協議会、先端医療技術トレーニングセンター、動物実験施設に感謝申し上げます。



※良陵協議会会報けやき第26号平成27年11月より許可を得て転載